

13

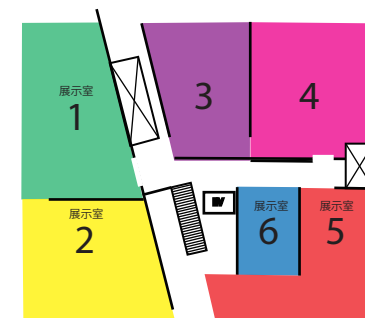
かなむ
KaNAMを
みるカード
2015

軽井沢ニューアートミュージアム
(かなむ KaNAM) には、たくさんの作品
が展示してあります。KaNAMを
たのしく見るためのポイントを紹介
します。

美術館でのやくそく

美術作品はみんなの宝物です。作品を大切にする優しい気持ちで鑑賞しましょう。また、美術館には他のお客さんもおられます。誰もが楽しく鑑賞できるように、次のことを守りましょう。

- ① 食べ物や飲み物は、持ち込まないで見よう。
(飲食物があったら、カバンにしまおう／口のなかの飴やガムも出そう)
- ② 作品や展示している壁にふれないで見よう。
- ③ 静かにゆっくり見よう。
(走らない・あばれない・大声や大きな音をださない)
- ④ 字や絵をかくときは、鉛筆か色鉛筆を使おう。
(消しゴムは使わないでね)



2F 展示室見取り図

KaNAM
KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM

こたえ：1. 前川強《作品 UA-21》(1964年) 2. 向井修二《記号化されたアンテナ・ウオーホル》
(2014)、3. 向井修二《記号化されたトイ》(本館 2F 男女兼用トイレ) (2014) 4. 上前智祐
《作品 (赤・黒い木枠)》(1980年代) 5. 名坂裕子《作品》(1967) 6. 名坂千吉郎《作品》(1958)
7. 松谷武判《作品 65-K》(1965)

写真は
どの作品の一部かな？
探してみましょう！



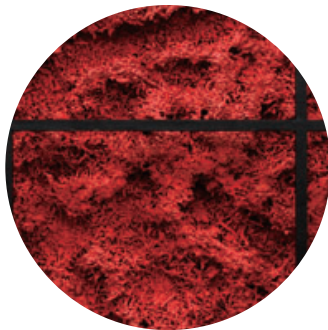
1.



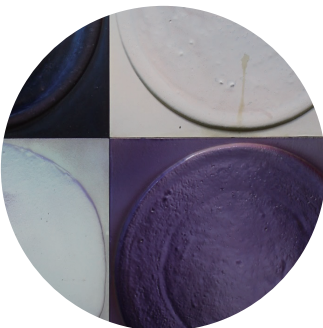
2.



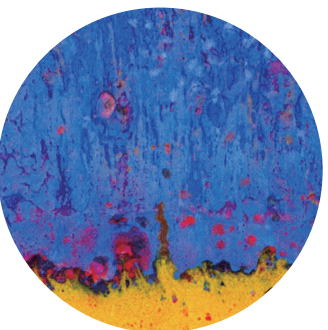
3.



4.



5.



6.



7.

発行：軽井沢ニューアート
ミュージアム教育普及課
2015年2月2日
◎ 軽井沢ニューアートミュージ
アム

ぐたいじん

具体人 in Karuizawa アーティストラインナップ

具体人とは？

1954年関西を拠点に吉原治良（1905-1972）を中心に発足した日本現代アートの先駆をなしたグループ「具体美術協会」のアーティストである。1972年にリーダーであった吉原治良が亡くなると具体美術協会は解散するが、個々の作家たちは独自の道を歩み続けていた。本展「具体人in Karuizawa」では具体のアーティストたちの全盛期から解散後、そして現在に至るまでの作品を幅広く展示。活動続ける彼らを本展では「具体人」とよぶ。各々が「人のまねをするな」という具体の掲げたコンセプトの元、今でこそ珍しくないが抽象絵画、インスタレーションやパフォーマンスを50年代に欧米と同時にもしくは先駆けて実践していた。

その具体美術協会の先鋭的な世界をこの展覧会でぜひご堪能あれ。

まえかわ つよし

● 前川強（1936-） Tsuyoshi MAEKAWA 「ドンゴロスの波紋」

切り裂かれた麻袋（ドンゴロス）と色彩が生み出す迫力空間

うえまえ ち ゆう

● 上前智祐（1920-） Chiyu UEMAE 「タブローの中の宇宙」

ゴッホやスーラを彷彿させるマッチ棒と点描の緻密な世界

まつたに たけさだ

● 松谷武判（1937-） Takesada MATSUTANI 「乳白色と漆黒、その官能的生動」

木工用ボンドで奏でる有機的、官能的フォルム

むか い しゅうじ

● 向井修二（1940-） Shuji MUKAI 「増殖する森羅万象記号」

作家が提唱する価値の上塗りとグラフィティ世界

な さか ゆうこ

● 名坂有子（1938-） Yuko NASAKA 「同心円の無限空間」

クレープのように描かれた円の神秘的万象

な さか せんきちろう

● 名坂千吉郎（1923-） Senkitiro NASAKA 「融解する色彩感覚」

何色の絵の具が使われているだろう？